

(Ⅲ) 2022年度 決算関係資料

【1】〔損益計算書〕 2022年4月1日～2023年3月31日

(単位:千円)

科目名	2022年度	2022年度予算	予算差	予算比	2021年度実績	前年比
商品供給高	7,342,642	7,100,000	242,642	103.4%	7,318,804	100.3%
商品供給剰余金	1,862,999	1,789,000	73,999	104.1%	1,858,941	100.2%
その他事業収入	262,998	239,214	23,784	109.9%	227,057	115.8%
事業総剰余金	2,125,997	2,028,214	97,783	104.8%	2,085,999	101.9%
事業経費	1,914,320	1,921,558	△ 7,237	99.6%	1,853,954	103.3%
人件費	975,623	974,086	1,537	100.2%	930,733	104.8%
物件費	938,696	947,472	△ 8,775	99.1%	923,230	101.7%
事業剰余金	211,676	106,656	105,020	198.5%	232,034	91.2%
事業外収益	35,914	13,300	22,614	270.0%	33,839	106.1%
事業外費用	608	759	△ 150	80.1%	871	69.8%
経常剰余金	246,983	119,197	127,786	207.2%	265,002	93.2%
特別利益	0	0	0	-	700	-
特別損失	919	3,000	△ 2,081	30.6%	3,693	24.9%
税引前当期剰余金	246,063	116,197	129,866	211.8%	262,008	93.9%
法人税等	57,838	-	-	-	73,128	79.1%
法人税等調整額	880	-	-	-	△ 4,798	-18.3%
当期剰余金	187,345	-	-	-	193,678	96.7%
当期首繰越剰余金	25,795	-	-	-	25,676	100.5%
会計上の変更による影響額	-	-	-	-	59	-
当期末処分剰余金	236,140	-	-	-	251,114	94.8%

【2】〔貸借対照表〕 2023年3月31日

(単位:千円)

科目名	2022年度	2021年度	前年比	科目名	2022年度	2021年度	前年比
流動資産	4,097,548	3,843,137	104.8%	流動負債	1,257,214	1,302,352	96.5%
現金預金	3,553,372	3,360,924	105.7%	買掛金	831,234	865,040	96.1%
供給未収金	398,930	404,254	98.7%	その他流動負債	425,979	437,312	97.4%
商品	1,472	6,957	21.2%	固定負債	263,338	249,395	105.6%
貯蔵品	1,614	3,173	50.9%	退職給付引当金	147,031	142,252	103.4%
その他流動資産	75,824	72,017	105.3%	その他固定負債	116,306	107,143	108.6%
貸倒引当金	△ 4,067	△ 4,190	97.1%				
固定資産合計	1,759,920	1,765,816	99.7%	負債合計	1,520,552	1,551,747	98.0%
有形固定資産	1,482,874	1,495,082	99.2%	組合員出資金	2,193,844	2,151,162	102.0%
無形固定資産	40,507	34,481	117.5%	剰余金	2,073,071	1,906,044	108.8%
その他固定資産	236,537	236,252	100.1%	純資産合計	4,266,915	4,057,206	105.2%
資産合計	5,787,468	5,608,954	103.2%	負債+純資産合計	5,787,468	5,608,954	103.2%

【3】決算概要

- 商品供給高は7,342,642千円で予算比103.4%、前年比100.3%となりました。
- 事業総剰余金は、たすけあい共済、個配手数料などの手数料を含め2,125,997千円となりました(予算比104.8%、前年比101.9%)。
- 人件費は975,623千円で、予算を1,537千円上回りました(予算比100.2%、前年比104.8%)。科目別では定時職員給与、法定福利費、厚生費、賞与引当金繰入額等が予算を上回りました。
- 物件費は938,696千円で、予算を8,775千円下回りました(予算比99.1%、前年比101.7%)。科目別では、広報費、消耗品費、修繕費、水道光熱費、租税公課が予算を上回り、組合員活動費、事業広報費、施設管理費、減価償却費、地代家賃、委託料、研修費、会議費、事務用消耗品費等が予算を下回りました。
- 事業外損益、特別損失を含めた税引前当期剰余金は246,063千円となりました。

本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いします。